



永福学園通信

令和6年3月1日

第10号

東京都立永福学園
統括校長 緒方直彦



学校評価について



2月とはいえ日々の寒暖差が大きい日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。過日、今年最後の学校運営連絡協議会を開催し、学校評価の結果を踏まえた今年度の学校経営報告を委員の皆様へ報告するとともに、年間を通してテーマとしている「人権」や「社会貢献」に関する本校の取組等について意見をいただきました。

さて、学校評価は法令に基づき、学校の教育活動やその他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることで、教育水準の向上に努めることを目的に実施されます。本校では、学校評価の目的を達成するために教職員や保護者の皆さまから評価や意見を聞くことに加え、昨年度から「永福学園をもっとよくする会」を立ち上げ、両部門の高等部生徒が直接、外部委員に意見を言える機会を設けたり、今年度は、学校公開や学科説明会等にいられた方々からも、学校の環境や授業の様子、教職員の対応等について評価をいただいたりするなど、学校関係者・外部評価の充実を図ってまいりました。特に生徒が外部委員に意見を言える機会を設けたことについては、外部委員の方からも評価されましたが、生徒の意見・要望については聞くだけでなく、丁寧に教職員で検討したことを説明し、生徒が、「意見を言って良かった」という経験につながって欲しいという課題もいただいています。そのため、今年も教職員で確認したことを、校長として改善できること、変えられないことについてはその理由も含めて、丁寧に説明する予定です。なお、このような生徒による評価を充実させることにより、学校生活の課題等について主体的に考えたり、意見を言ったりすることで、意思決定に関する資質・能力の向上や、意見を言ったことが実現することを通して自己肯定感を高めることに繋がることを期待するところです。

最後に、評価委員長である東洋大学の高野教授からの本校への提言・まとめを、体育館にて全教職員でお聞きしました。高野教授からは、今後の学習活動について助言をいただきました。それは、『学習者（児童・生徒）を主体とした授業改善をより一層推進してください』ということでした。校長としては、ともすると授業者（教職員）が児童・生徒の実態や一人一人の学び方を踏まえずに、授業者がやりやすい内容や方法で行う傾向になりがちになることへの警鐘として受け止めました。

現在、本校（特に肢体不自由教育部門）では、系統性のある教科の指導を充実させることを進めています。カリキュラム（学習内容）が明確になることは、授業者にとっては授業を作りやすくなりますが、学び方や内容が学習者の実態にあっているのかという視点をもたないと、児童・生徒が「わかった・できた」という実感がもてない授業になるということです。このことは「個別最適化」の学びにつながる両教育部門共通の課題であると思います。

今回の提言を踏まえ、改めてこれまでの授業計画・方法を見直して、学習者中心の授業改善に引き続き努めてまいります。保護者等の皆様には、その過程を授業参観等の機会に確認・評価していただければ幸いです。

校長 緒方 直彦



One School!! One Team!! 2023



わたしたちの学校自慢！

【肢体不自由教育部門】

高等部知的代替グループの生徒の学校自慢です。
学校には、楽しいことがいっぱいです。

家庭の授業は、コンソメスープやフレンチトーストなど、おいしく楽しく調理実習ができます。

仲の良い友達がたくさんいて、学校生活が楽しいです。

牛肉の混ぜ寿司、ひつまぶしなど、給食がとても美味しいです。

英語の授業は、歌やアルファベットの勉強ができます。

音楽の授業は、歌ったり、楽器演奏をしたりなど、楽しい勉強をいっぱいできます。

なかまと楽しく部活ができます。

【就業技術科】各学年の代表からの学校自慢です。

校内が広くて明るい。よく清掃されています。

部活動がたくさんあり、どの部の活動も盛んです。

職業に関する専門教科が楽しいです。専門教科をとおして、自分の合った仕事を見つけることができます。

この学校には「人としての優しさ」をもっている生徒や先生がたくさんいます。

生徒と生徒の仲が良い。担任の先生以外にも相談しやすいです。

就労に向けての取組が熱心です。

生徒の人数が多いので、友達がたくさんできます。

図書室が明るくてきれい。本を読んでいる人、休憩している人……みんなが楽しそうにしています。ホッとできる場です。

★編集後記★

「学校の自慢は？」の問い掛けに、すぐに意見を挙げられる子供たち。さらに、「○○したらもっと良くなると思う」との意見もあり、子供たちが、自分たちの学校の事をよく考えていることを嬉しく思います。子供たちの思いと共に、教職員も一丸となって永福学園の自慢・魅力を発信していきたいと思ひます。

主幹教諭：池田 奈央子

東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号
電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381
<https://www.eifuku-sh.metro.ed.jp/>